

戸隠キャンプ場及び飯綱高原キャンプ場の 利用料金に係る条例改正について



戸隠キャンプ場



飯綱高原キャンプ場

観光文化部観光振興課

1 施設の概要、利用状況

・概要

戸隠キャンプ場は、昭和36年に開設。敷地面積は、22.49haで東京ドーム約5個分にあたり、広大なフィールドの中にフリーサイト250張、電源、水道付区画サイトは50区画、ログキャビン28棟、バンガロー2棟、コテージ5棟、トレーラーハウス4棟と、様々なシチュエーションで楽しめる全国的にも例を見ないキャンプ場である。

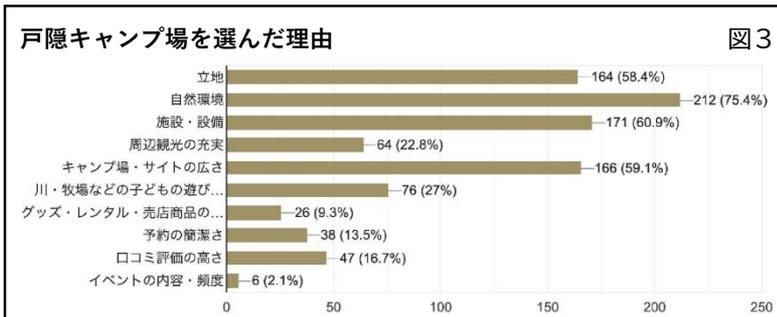
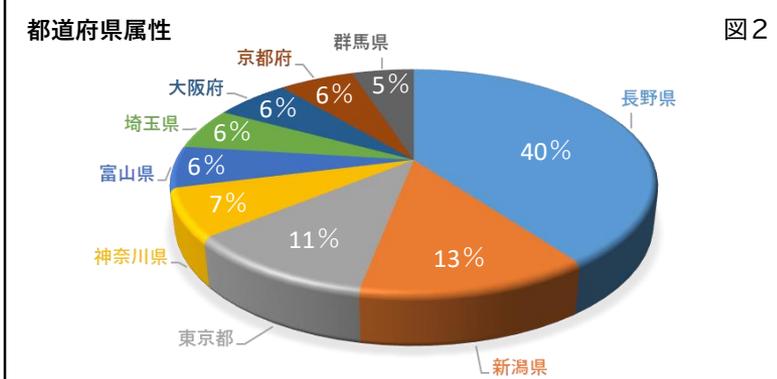
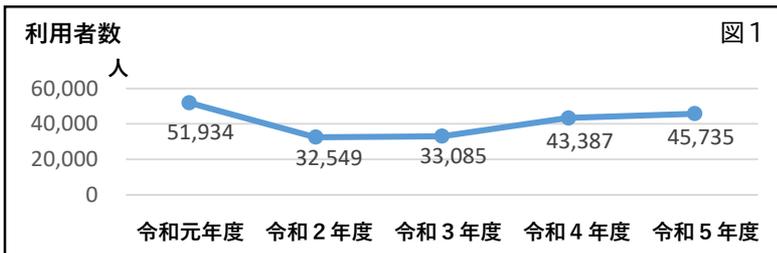
また、場内に併設されている戸隠牧場は牛や馬が放牧され、乗馬体験やふれあい動物広場など子どもたちに大人気となっている。

・利用状況

令和2年度、3年度は新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少したが、令和4年度以降はコロナ過でのキャンプブームも後押しをして利用者が増加した。（図1参照）

（株）戸隠のアンケート調査では、利用者の4割が長野県、6割が県外（関東地方3割、北信越地方2割、関西地方1割）。（図2参照）

戸隠キャンプ場を選んだ理由の一番は、自然環境が良いこと、二番は、施設・設備が充実していること、三番は、サイトの広さや交通の便などの立地条件が良いこと。（図3参照）



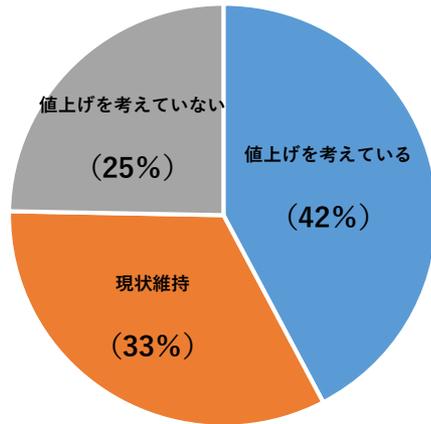
2 全国のキャンプ場における今後の方針・方向性

- 全国のキャンプ場900カ所からアンケートを実施。（公設及び民間）

2024年度予想と計画アンケート結果

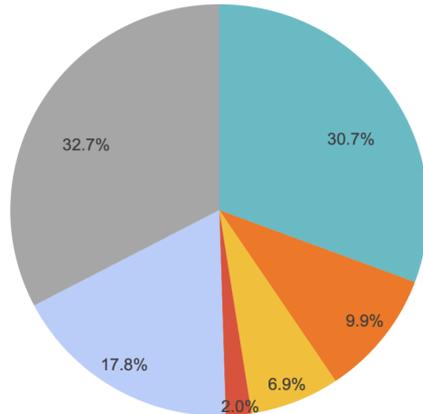


サイト料金の値上げの有無



- 値上げを考えている (42%)
- 現状維持 (33%)
- 値上げを考えていない (25%)
- ※内、すでに値上げを実施済み 24%

2024年事業の大きな方針・方向性として特に考えていることは？



- キャンプ場事業サービス（ソフト面）拡充 (30.7%)
- キャンプ場事業規模（ハード面）拡張・拡大 (9.9%)
- キャンプ場周辺関連事業の開発・拡大 (6.9%)
- 別事業へ参入 (2.0%)
- 適正な規模や組織、サービスへの整理・見直し (17.8%)
- 現状維持・堅持 (32.7%)

※キャンプ業界は、キャンプブームがピークアウトし、今後利用者が減少していく。その中で、いかに清潔で快適な環境を整え、利用者に気持ちよく過ごしていただき、選ばれるキャンプ場になるかが重要である。そのため、経営環境の変化に対応できる料金体系とする必要がある。

3 近隣類似施設との料金比較

コテージ、ログキャビン、バンガロー比較

※ 敷地面積が戸隠キャンプ場と同等規模の人気キャンプ場

(単位：円)

区分		戸隠 キャンプ場 (現行)		北軽井沢 スウィートグラス		無印良品 カパ-ニャ孺恋 キャンプ場		
所在地		長野市		群馬県長野原町		群馬県孺恋村		
コテージ (6人)	レギュラー	28,000			29,000		48,400	
	ハイ	31,000			80,500		75,625	
ログキャビン (5人)	レギュラー	9,000			13,200		18,800	
	ハイ	14,000			52,300		32,500	
バンガロー (5人)	レギュラー	5,000			—			
	ハイ	6,000			—			

(黄色セルは、上限額に達している)

区画サイト、フリーサイト比較

区分		戸隠 キャンプ場 (現行)	北軽井沢 スウィートグラス	キャンプ & キャビンス 那須高原	丸沼高原 オートキャンプ場	無印良品 カパ-ニャ孺恋 キャンプ場	キャンプラス いいづな 飯綱東高原	長野フォレスト ビレッジ
所在地		長野市	群馬県長野原町	栃木県那須町	群馬県片品村	群馬県孺恋村	長野県飯綱町	長野市
区画サイト	レギュラー	8,000	5,500	5,500	5,000	8,320	6,000	—
	ハイ	11,000	28,000	18,500	10,000	13,000	11,500	—
	m ²	130m ²	120m ²	130m ²	140m ²	140m ²	130m ²	
フリーサイト	レギュラー	2,500	—	—	3,000		3,600	2,000
	ハイ	4,000	—	—	5,500	8,000	5,000	3,500

(黄色セルは、上限額に達している)

4 キャンプ場経営の方向性

キャンプブームがピークアウトしていく中、安定した経営を維持していくには、指定管理者の自由な発想により、収益性の高い事業展開を行うことが必要であり、今後、さらなるサービスの向上を目指す

- ① 安定的な経営を維持する
- ② キャンプ場内の清潔、快適な環境づくり（トイレ整備、炊事場の快適性の向上）
- ③ 観光資源として、更なる魅力を磨き上げる（インバウンド対応、トレーラーハウス施設等の通年化）
- ④ 登山者や市民にとって、より身近で気軽に利用できる施設を目指す

5 利用料金改正の考え方（参考）

- ① 近隣キャンプ場と比較する中で、魅力を維持し、競争力を失わない均衡のとれた料金
- ② 指定管理者の様々な企画や裁量を妨げないこと
- ③ 今後、人件費等の上昇にも耐えうる料金の幅を考慮すること

(1) 上限額の引き上げ

現在の利用料金は、上限に達しているものが多いことから、類似施設を参考に利用料金の上限額を引き上げ、指定管理者の柔軟な運営の下、幅広いサービスを提供していくため、適切なタイミングで料金改定できるように上限の幅を持たせた額で設定するもの。

(2) フリーサイト持込テントの区分の一本化

近年、テント形状が多様化し、1人用の広いテントから10人以上のテントまで、幅広いテントが使用されていることから、区分を一本化し、面積に応じた料金設定にするもの。

区分	適用		改正前	改正後
			上限	上限改定額
コテージ	1棟1泊		31,000円以下	62,000円以下
ログキャビン	1棟1泊		18,000円以下	36,000円以下
バンガロー	1棟1泊		6,000円以下	12,000円以下
フリーサイト	常設テント 1張1泊		4,000円以下	10,000円以下 (区分を一本化) テントサイズごとに料金を設定
	持込テント 1張1泊につき	2人以下用	3,000円以下	
		3人以上用	4,000円以下	
	補助テント 1張1泊につき		3,000円以下	
区画サイト	130㎡		11,000円以下	22,000円以下
電源水道付サイト	200㎡		16,000円以下	32,000円以下
駐車料	1台1泊につき		10,000円以下	20,000円以下
	1台1日		3,000円以下	6,000円以下
シャワー	1回につき		310円以下	620円以下
入場料	1人1日につき		300円以下	600円以下



(黄色セルは、上限額に達している)

7 フリーサイト利用時のテントサイズごとの料金(案)

(参考)

〈料金設定区分〉

- ・ 小型テント… (設置面積 0~10㎡未満)



〈利用料金(案)〉

3,500円

- ・ 中型テント… (設置面積 10㎡以上~20㎡未満)



4,500円

- ・ 大型テント… (設置面積 20㎡以上)



6,500円

- ・ 補助テント…タープなど



2,000円

※最盛期、1張1泊料金

〈確認方法〉

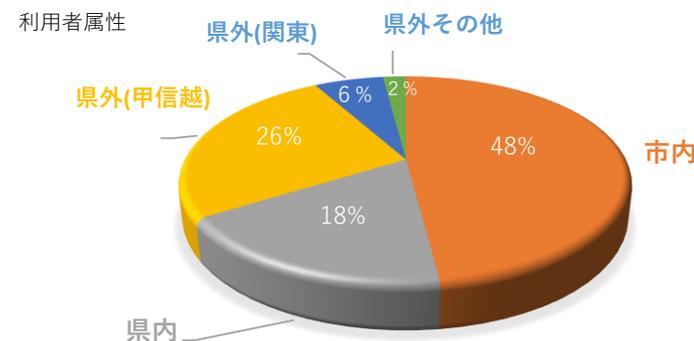
- ・ テントの使用人数による確認はしない。
- ・ チェックイン時に利用テントサイズを申告してもらい、サイズ別に色別の目印(右のようなタグ)を配布し、スタッフ巡回時に受付サイズと設営されたテントのサイズを確認する。
- ・ サイズ不明の方には、テント設営後にスタッフが計測し、タグを渡す。



1 施設の概要、利用状況

飯網高原キャンプ場は、昭和31年に開設。

ログキャビン12棟、炊事場2カ所、公衆トイレ（水洗）1カ所、デッキサイト12基（電源付3基＋電源無9基）があり、市街地から車で約30分とアクセスがよい。令和4年度にはナガノフォレストビレッジとしてリニューアルオープンし、飯網高原交流拠点施設（以下、「森の駅ダイザハウシ」という。）のマルシェやカフェレストランも利用でき、レンタル品も充実していることや無料で遊べる小天狗の森アスレチックがあることから、初心者や子育て世帯も気軽にキャンプを楽しめると人気がある。利用者の約半数が市民のキャンプ場である。



2 利用料金に係る条例改正の方向性

令和4年度の森の駅ダイザハウシオープン以降、マルシェやカフェレストランにおいてキャンプ場利用者向けのサービスを拡充し、小天狗の森の遊具改修も進んでいる。

令和6年7月にデッキテラス9基を新設したことから、キャンプ場の利用環境等の向上に併せた料金の見直しに際しては、ハイシーズンの収益性をより高める料金設定等、適切なタイミングで柔軟に対応できるよう、上限額を引き上げること。（今後の人件費上昇等にも対応できるよう幅を考慮する。）

また、近年テントの形状が多様化していることから、持込テントの区分等について料金体系の見直しを行う。



3 条例改正(案)について

(1) 上限額の引き上げ

現在の利用料金は、上限に達しているものが多いことから、類似施設を参考に利用料金の上限額を引き上げ、指定管理者の柔軟な運営の下、幅広いサービスを提供していくため、適切なタイミングで料金改定できるように上限の幅を持たせた額で設定するもの。

(2) フリーサイト持込テントの区分の一本化

近年、テント形状が多様化し、1人用の広いテントから10人以上のテントまで、幅広いテントが使用されていることから、区分を一本化し、面積に応じた料金設定にするもの。

(3) 入場料の対象年齢を小学生以上に変更（戸隠キャンプ場と揃えるもの）

区分	適用	改正前	改正後
		上限	上限改定額
ログキャビン	1棟1泊につき	12,000円以下	24,000円以下
デッキサイト	1区画1泊につき	9,000円以下	18,000円以下
	1区画1日につき	7,000円以下	14,000円以下
フリーサイト	テント (補助テントを除く) 1張1泊につき	2,500円以下	9,000円以下 (区分を一本化) テントサイズごとに
		3,500円以下	
	補助テント 1張1泊につき	1,000円以下	
	テント 1張1日につき	1,000円以下	
入場料	1人1日につき	500円以下 中学生以上	600円以下 小学生以上

(黄色セルは上限に達している)



4 フリーサイト利用時のテントサイズごとの料金(案)

(参考)

〈料金設定区分〉

- ・ 小型テント…設置面積 0～10㎡未満



〈利用料金(案)〉

3,500円

- ・ 中型テント…設置面積 10㎡以上～20㎡未満



4,500円

- ・ 大型テント…設置面積 20㎡以上



6,000円

- ・ タープ(補助テント)…長辺が5 m以下のサイズのもの



1,500円

- ・ 大型タープ(補助テント)…長辺が5 mを超えるサイズのもの

2,000円

※最盛期、1張1泊料金

〈確認方法〉

- ・ テントの使用人数による確認はしない。
- ・ チェックイン時に利用テントサイズを申告してもらい、サイズ別に色別の目印（右のようなタグ）を配布し、スタッフ巡回時に受付サイズと設営されたテントのサイズを確認する。
- ・ サイズ不明の方には、テント設営後にスタッフが計測し、タグを渡す。



5 類似施設との料金比較

区分	適用		飯綱高原 キャンプ場 (現行)	戸隠キャンプ場 (現行)	キャンパス いづな (飯綱東高原)	富士見高原 リゾート 花の里キャンプ場	喜多川 キャンプベース
			長野市	長野市	飯綱町	富士見町	埼玉県飯能市
ログキャビン	1棟1泊	レギュラー	(定員6人) 8,000	(定員5人) 9,000	(定員6人) 17,000	—	—
		ハイ	(定員6人) 12,000	(定員5人) 14,000	(定員6人) 18,000	—	—
デッキサイト(電源有)	1区画1泊	レギュラー	(35㎡) 5,000	(※1) 8,000	—	(※3) 7,500	(39㎡) 8,800
		ハイ	(35㎡) 9,000	(※1) 11,000	—	(※3) 8,500	(39㎡) 12,100
デッキサイト(電源無)	1区画1泊	レギュラー	(40㎡) 4,500	—	(※2) 6,500	—	(※4) 5,500
		ハイ	(40㎡) 8,500	—	(※2) 7,000	—	(※4) 8,800
デッキサイト(電源有)	1区画1日	レギュラー	(35㎡) 2,500	—	—	—	—
		ハイ	(35㎡) 5,000	—	—	—	—
デッキサイト(電源無)	1区画1日	レギュラー	(40㎡) 2,000	—	(※2) 6,500	—	—
		ハイ	(40㎡) 4,500	—	(※2) 7,000	—	—
フリーサイト	1張1泊	レギュラー	(3人以上用) 2,000	(3人以上用) 2,500	4,100	(※4) 7,500	—
		ハイ	(3人以上用) 3,500	(3人以上用) 4,000	4,700	(※4) 9,000	—
	1張1日	レギュラー	1,000	—	—	—	—
		ハイ	1,000	—	—	—	—
入場料	一日につき	中学生以上 300	小学生以上 300	—	—	中学生以上 1,100 (施設使用料/人)	
備考			※1 区画サイト 130㎡	※2 デッキマス 30㎡ 区画サイト 49㎡	※3 デッキマス 16㎡ 区画サイト 400㎡ 電源付き ※4 3人利用の場合 電源付き	※4 デッキマス 25㎡ 焚火等スペース 25㎡	

(黄色セルは上限に達している)

月 日	内 容
令和6年10月22日	部長会議
10月29日	政策説明会
11月 6日	法規審査委員会
	12月市議会（条例一部改正）
令和7年1～3月	料金公告
4月	料金改定